

# 世界文学研究会 & GCOE-SRC 研究員セミナー(共催)

2012年5月22日(火) 15時～16時30分

スラブ研究センター 4階 小会議室

書評：遅塚忠躬 『史学概論』

(東京大学出版会, 2010)

左近 幸村 (日本学術振興会特別研究員PD)

フランス革命研究の大家、遅塚忠躬(1932～2010年)は晩年に著した『史学概論』の中で、歴史学と文学の境界についても考察しています。そこで今回の研究会ではその点を中心に切りあげ、歴史学と文学の役割や歴史学の今後について考えてみたいと思います。

問い合わせ:井上(スラ研 内線2384)

福田(スラ研 内線4809)

